

平成30年度札幌圏保健医療福祉圏域連携推進会議

1 日 時

平成31年2月26日(火) 18:30~19:15

2 場 所

WEST19 5階講堂

3 出席者

[構成員]

札幌市医師会	理事	西村	光弘
江別医師会	副会長	笹浪	哲雄
札幌歯科医師会	副会長	諸留	裕
札幌薬剤師会	副会長	森山	公博
北海道看護協会	専務理事	荒木	美枝
北海道歯科衛生士会札幌支部	副支部長	天道	紀子
札幌市社会福祉協議会	地域福祉部長	中路	康夫
恵庭市社会福祉協議会	常務理事兼事務局長	船田	清
当別町社会福祉協議会	事務局長	高橋	通
札幌市	医療政策担当部長	伊藤	智
江別市	地域医療担当参事	及川	正男
千歳市	保健福祉部次長	奥谷	則世
北広島市	健康推進課長	尾崎	英輝
石狩市	健康推進担当部長	上田	均
当別町	保健福祉課長	山下	勝也
新篠津村	住民課参事	金兵	真人

[随行者]

札幌市保健福祉局保健所	医療政策課長	柴田	千賀子
	医療企画係長	矢ヶ崎	和明
	医療企画系主査(地域医療)	延	育子
	医療企画係	西澤	美幸
千歳市保健福祉部	健康づくり課長	藤田	聖樹

[事務局]

北海道石狩振興局	保健環境部長	大原	宰
// 保健環境部保健行政室	室長	合田	英人
// 企画総務課	課長	佐藤	英寿
// 健康推進課	課長	深津	恵美
// 企画総務課	企画主幹	富井	敏彦
	地域医療薬務係長	對馬	好克
	企画係主査(保健推進)	川口	和子
	企画係主査(健康増進)	立花	宏美
	企画係専門主任	岡田	栄樹
	// 主事	島崎	篤也
// 保健環境部千歳地域保健室	次長	佐藤	美幸
// 企画総務課	課長	加藤	睦弘
// 健康推進課	課長	今川	洋子
// 企画総務課	企画主幹	川股	英嗣

4 会議内容（要旨）

○ 開 会

挨拶＜事務局：大原部長＞、出席確認、資料確認等

○ 平成30年度札幌圏保健医療福祉圏域連携推進会議の説明について

＜事務局：合田室長＞

- 現行の「札幌圏地域推進方針」のもと、札幌圏域の5疾病・5事業及び在宅医療の現状について御報告する。
- 次に、前回会議で御了承いただいた「難病対策専門部会」について、今年度の協議内容等を御報告する。
- 次に、新たな「札幌圏地域推進方針」について、事務局から概要を御説明し、皆様の御了承をいただきたいと考えている。

<議事進行：西村 札幌市医師会理事>

○ 議事（1）札幌圏域の現状について

- ・資料1により、事務局から5疾病・5事業及び在宅医療の現状について説明。

＜企画総務課：島崎主事＞

質疑等なし。

○ 議事（2）専門部会報告について

- ・資料2により、事務局から「難病対策専門部会（難病対策地域協議会）」について、今年度の開催状況及び次年度の計画について説明。

＜健康推進課：深津課長＞

● 質疑等

（札幌市医師会）

各地域に難病を持っている方がいると思うが、災害等があるとそれぞれの地域では診きれないことがある。広い札幌圏域から札幌の病院に担ぎ込まれて来るとして、各病院がどのくらい患者さんを受入れ、どのくらい僕らが頑張らなくてはいけなやかな、というところを各院長先生方が苦慮しているところだ。難しいとは思いますが、札幌圏域には札幌に来なければいけない患者さんが結構いると思うので、それがどのくらいいてどういう風に来るのかをシミュレーションしておかないと、受け入れる側が困ると思っているが、いかがか。

（事務局）

御指摘の部分については協議会としても、医療の流れを明らかにしていくことが必要だという御意見をいただいておりますが、地域によってもかなり特徴がある状況。例えば、石狩方面は札幌の医療機関にお世話になっておりますが、地震の時には酸素や人工呼吸器等必要な方については札幌の主治医に相談したが、実際にはアクセスが難しく、江別市立病院で対応いただいた方もいると聞いている。普段と災害時等にはどのような流れが可能かについても、引き続き、検討させていただく。

○ 議事（3）札幌圏地域推進方針（案）について

- ・資料3-1、3-2により、事務局から新たな「札幌圏地域推進方針」について概要を説明。

＜企画総務課：富井企画主幹＞

● 質疑等

（江別医師会）

がん検診の受診率が出ているが、地域と職域を合わせた数字か。地域のデータではこのような高い数字は出てこない。また、地域で見ると北広島市がかなり低いが、低い理由はあるのか。

（北広島市）

がん検診受診率については、職域と市町村でやっているものを明確に分ける手段はない。ただ、平成27年度までは母数の取り方が統一されていなかったこともあり、市町村によってこのように開きがある。平成28年度からは、先生が把握して

いるような数字になっているはず。

(札幌市医師会)

5疾病・5事業ということなので、例えば糖尿病性腎症や心不全などは、また別の枠組みになるということか。

(事務局)

道の医療計画に沿って作っており、国の方で5疾病5事業という大きな枠で書くことになっている。糖尿病性腎症の重症化予防等に関しては、道の主催するフォーラム等もあるが、別の事業となっているので、今回の地域推進方針に関しては、医療計画に基づいた大きな枠組みということで御理解いただきたい。

● 「北海道医療計画札幌圏域地域推進方針〈案〉」について、本会議において承認。

○ (4) その他については特になし。